

チーム名	跡見学園女子大学 チームmimat	大学名・学部	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部	ニューノーマルステージ
プラン名称	和紙で残す、想結旅。			
テーマ	ニューノーマル時代に対応する観光まちづくり			
リーダー名	都築礼	メンバー名	都築礼、満田祐里、荒井葉月、岩崎佳菜子、森竹渚紗	
指導教職員名	小関孝子			

## 1. 観光まちづくりとは？

それぞれの想いを結び、  
魅力とともにまちを未来に残すまちづくりである。  
 地域が、観光客の想いを結ぶ場所になることで、  
 未来に残すまちづくりは実現する。  
 観光客は、思い出の場所としてまちを思い続ける。

## 2. 分析と考察

未来に残すまちづくりに最適な資源は、小川和紙である。  
 小川町の想いが強い「小川町七夕まつり」は、  
 和紙産業の復活のためにできたまつりだ。  
 まちの想いが結ばれて、1300年を超えて残り続ける  
小川和紙によって、まちが未来に残ると結論付けた。

## 3. 新規性

和紙を資源、食材としてコンテンツ化し、  
和紙を食べるという今までに無いインパクトを残す。  
相手が主役という新しい形態の観光であり、  
 旅中の思い出をあえて手紙というツールで残す。

## 4. 効果

小川町＝和紙というイメージの構築を  
 国内、ひいては世界に定着させる。  
 小川町が観光客の心に残り続ける思い出のまちになり  
 再来訪を促すことを目指す。

## 5. 実現計画 (小川町観光協会様・吉田家住宅様 承認済)

小川町観光協会(小川町役場にぎわい創出課)様と連携して、  
 「小川町＝和紙」の定着化を図る。  
 実際に和紙を漉く、食べる、吉田家住宅で想いを残す  
 特別な体験を提供して、和紙の魅力を広げていく。

## おもいたび 和紙で残す、想結旅。

### 課題

- シンボルがない
- 家族、若者が訪れてくれない
- まちを周遊しない

### 解決方法

- 和紙のイメージ定着
- 若者が家族と訪れる循環
- 和紙で周遊させる

### プラン提案 承認

ターゲット   
 関東圏に住む  
 家族に親孝行をしたい新成人

#### ①残せる招待状

思い出が自宅に残るよう、  
 大切な家族写真と当日の写真が  
 貼れるような設計に。

#### ②想いを残す和紙ランプ

相手のために自ら漉いた和紙で  
 想いを込めてランプをつくる。  
 当日は、あなたの想いを結び、  
 持ち帰った後も自宅に思い出を残す。

#### ③記憶に残る初めてのお酒と和紙

楮の葉は和紙の原料とならずに残る。  
 「かずの葉天ぶら」とお酒で乾杯。  
 ※楮を小川町では、かずと呼ぶ

小川町の想いを結び、  
 未来に小川町を残す。

#### ⑥未来に届く、残した思い出

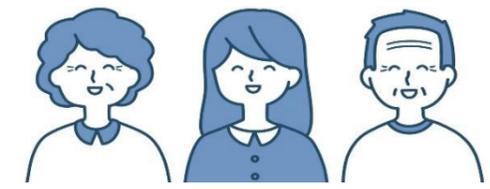
残した思い出が蘇ると、  
 再びまちを訪れたいと思いませんか？  
 まちと人々の想いが結ばれ、  
 大切な思い出の場所に小川町になる。

#### ⑤ポストに投函

自分の好きな年数を選び、  
 未来に向けて手紙を送る。  
 数年後を楽しみに、帰宅する。  
 ※タイムカプセル郵便を利用

#### ④思い出を残す和紙レター

家族⇨あなたに手紙を書く。  
 吉田家住宅で、  
 囲炉裏の灯火の音とともに  
 想いを残しませんか？



想いを残す  
和紙ランプ



記憶に残る  
初めてのお酒と和紙



思い出を残す  
和紙レター